

学びを支援します

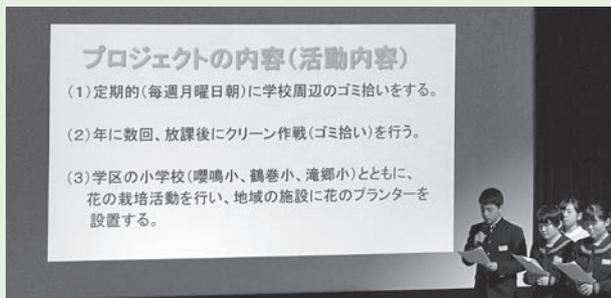
旭・学び助成金 旭3S活動

旭3S活動とは「Asahi Support System for Students」のことで、その頭文字から「旭3S」と呼んでいます。

市内の小・中・高校生が、社会的貢献を目的とした活動を積極的に展開するため、旭3Sに賛同する個人や法人会員からの年会費を財源とする「旭・学び助成金」を提供して、子どもたちの学びを支援しています。

高校生が旭3Sの活動に初参加

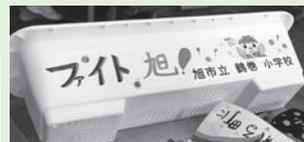
旭農業高等学校では復興支援プロジェクト班を立ち上げ「災害の記憶を風化させない～災害を乗り越えて復興の架け橋に～」をテーマに、伊豆大島の復興支援に取り組みました。2月の報告会では土砂災害に見舞われた大島を元気にするため、現地の高校生と行った花植え活動から学んだことを発表しました。



活動を報告する生徒たち

広げよう復興の輪 ～小中高の連携～

旭農業高等学校の生徒が、3月11日の東日本大震災追悼式典会場を、パンジーの花で飾りました。植栽用のプランターには、小・中学生が復興への願いを込めたメッセージを書き、高校生との連携や協力のもと、復興の輪を広げることができました。



メッセージに願いを込めて

小・中学生の活動内容

平成29年度に活動した、小・中学生の活動内容をご紹介します。

- 富浦小・矢指小「きれいな街 旭を目指して」
- 三川小「三川にこここ大作戦～笑顔の花を咲かせよう～」
- 中央小「私たちにできること～地域とともに～」
- 共和小「花いっぱい 笑顔もいっぱい」
- 干潟小「安心・安全・明るい未来づくりプロジェクト」
- 海上中・嚶鳴小・鶴巻小・滝郷小「クリーン＆グリーン作戦in海上」
- 旭二中吹奏楽部・ボランティア部「Happiness of Asahi IV～広めようAsahiの魅力～」

教育委員会コラム | 第2回 |



「あさひ輝いた人々」 編さんに携わって

教育長職務代理者
鍋木俊一

私は5年前の平成25年に干潟中学校を定年退職した後、週3日、市民会館の中にある文書館で、古文書管理と旭の歴史調査をする仕事をいただきました。そのときに明智市長の発案で「旭の発展に功績のある人」や「旭市出身で才能を発揮した人」を一冊の本にまとめるという仕事を行いました。

八木雅之さんを委員長に編さん委員会が組織され、51人を人選し、紹介することになりました。何度か編さん

委員会が行われ、平成29年7月に「あさひ輝いた人々」として刊行しました。

私がこの仕事を通じて感じたことは、この輝いた人たちがいなかったら、今の旭の発展はないだろうなという思いでした。

今では旭市の農業は全国屈指の生産を誇ります。しかし鉄牛や辻内刑部左衛門が椿海を干拓していなかったら、これほど農業は発展していないでしょう。大利根用水を利根川から引いてきた、野口初太郎の努力も忘れることはできません。

旭市出身で日本や世界に名をとどろかせた人もたくさんいます。瀧川惣助は迎賓館に七宝焼の額が飾られています。茂木啓三郎のように大企業の社長になった人もいます。

私たちはこれらの方々の努力に感謝するとともに、夢を持って自分自身や旭市の発展のため努力していかなければならないと思います。

この本は図書館や公民館にあります。昨年度の区長にも渡してあります。ぜひ読んでみてください。小中学校でも郷土学習の授業で活用していただけることを期待します。